

<令和2年度の事業報告>

1. 宇部市ごみ減量化機器等購入費助成金【新規】

ごみの減量化対策の一環として、宇部市における一般家庭等から排出される生ごみ及び剪定枝葉の減量化及び再資源化を推進するため、対象となるごみ減量化機器等を購入した際に係る購入経費の一部を助成。

*助成金額

対象機器等本体の購入価格（送料及び消費税相当額を除く。）の2分の1（限度額25,000円）

*助成実績

生ごみ処理機16基 ガーデンシュレッター52基

2. 「家庭ごみの分別と出し方」更新版発行【新規】

新たなごみの減量化に関する情報（使用済小型家電の回収、フードバンク事業、LINE 分別方法検索「ごみ分別案内ポット」等）の掲載、五十音順ごみ分別区分一覧表を更新。（前回平成25年3月作成）

*作成部数

54,000部

*自治会やふれあいセンターを通じて希望者へ配布



3. 宇部市指定ごみ袋のレジ袋代用実証【新規】

商品を購入する際にレジ袋の購入を希望する顧客に対し、レジ袋と本市の指定ごみ袋のどちらか一方を選択していただき、指定ごみ袋を買い物袋として使っていただくことで、ごみとして捨てられてしまうレジ袋の総量を抑え、プラスチックごみ削減に繋げるとともに、ごみにならない新たなレジ袋として消費者サービスの向上を図ることを目的として実証事業を実施。公募により協力事業者を募集。

○実証期間：令和3年3月1日（月）～5月31日（月）92日間

○実施主体 株式会社フジ フジグラン宇部（宇部市明神町三丁目1番1号）

○実施方法 フジグラン宇部1階食品館レジにて宇部市指定ごみ袋（中）20リットル取っ手付きを販売。

○販売価格 1枚8円（税込）

<実績>

指定ごみ袋販売枚数：109枚。有料レジ袋販売数は37,180枚であり指定ごみ袋購入率は0.34%

<今後の取組>

マイバック持参率が7～8割と高く、レジ袋有料化の認知度も高い。一方で、指定ごみ袋のレジ販売認知度は低いことが、購入数が伸びない要因と考える。

指定ごみ袋の販売方法等のノウハウを確認できたことから、事業所訪問等の機会に紹介するなど、市内事業者で取り組みが広がるよう啓発に努める。

4. 自治会清掃に伴う草木類リサイクル実証事業【新規】

自治会の清掃活動で収集される草木類の量約500トンの一部（約30t）を対象に、民間リサイクル施設におけるバイオマス燃料や堆肥等へのリサイクルの可能性について、公募による実証事業を実施。

〈実証結果〉

- ・バイオマス燃料としては、受入れ先が確保できているものの、本来は草よりも木くずの方が燃料として適しているため、現時点で全量受入れは困難。
- ・マルチング材は堆肥と比べ処理が容易であり、堆肥化についても処理工程上の問題はなく、雑草の発生抑制、土壌改良材として一定の効果は期待される。堆積するスペースの確保が課題。
- ・コスト面においては、収集運搬費に関しては削減効果があるものの、今回の実証で試算された民間処理コストでは、将来施設更新の建設コスト削減効果を考慮しても経費面から有効ではない。
- ・現時点では、経費面が大きな課題であり、実行に移すことは困難であるが、マルチング材及び堆肥化、バイオマス燃料など、複合的な用途を想定した場合、自治会清掃分程度であれば受け入れ先の確保は可能であるため、将来的な実装の可能性を引き続き検討する。

5. 食品ロス削減への取組

食品ロス削減の取組として、

令和元年7月からNPO法人フードバンク山口と連携してフードバンク事業を開始した。

※フードバンクとは・・・まだ食べられる状態で余っている食品を提供してもらい、それを必要とする施設や団体等に引き渡す活動。

*フードバンクポスト設置場所 宇部市役所、アルク厚南店、アルク南浜店、アルク琴芝店、コープこと宇部店、ゆめタウン宇部・アルク西岐波店 計7箇所

*フードバンク実績

回収	19,865個	3,940kg
提供	12,500個	2,572kg

フードバンクポスト

〈課題〉

- ・ポストに回収条件を満たさない食品が多く出される。
(賞味期限切れ、食品表示なし等)
- ・食品回収及び食品管理をボランティアに依存。

〈今後の取組〉

- ・活動を周知することにより適正食品の提供依頼及び回収量増加を図る。
- ・企業の協力による食品寄贈の増加を図る。



6. 古着・古布のリサイクル推進

家庭で不用になった古着・古布を各ふれあいセンター等で回収し、障害福祉サービス事業所でウエス（工業用雑巾）に加工している。

令和元年度からは、各校区のふれあいセンターに設置している古着・古布回収ボックスにより回収された古着・古布の量に応じて発生した収益を、当該校区に対して交付金として分配することとした。

*回収場所 各ふれあいセンターなど公共施設 計31箇所

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
回収実績	45,407kg	46,781kg	48,915 kg	58,643 kg	56,134 kg
(対前年比)	△17%	3%↑	4%↑	20%↑	△4%

<課題>

- ・不適物の混入が多く見られる。

<今後の取組>

- ・地域への交付金配布が回収量増加に繋がったことから、今後も地域活動への支援を継続する。
- ・本事業を周知することで、更なる回収量の増加と不適物の排除を図る。

※体操服のリサイクルモデル事業

卒業シーズンに合わせ不用な体操服を回収・リサイクルする「体操服ありがとうプロジェクト」を市内小中学校3校で実施。令和3年3月を回収期間とし回収量は9kgであり、実施校からは継続実施の意向もあることから今後の実施方法を検討する。

7. 子育て支援リユース事業

家庭で不用になった子供服・絵本、子育てグッズ、子ども用スポーツグッズ、学生服、学用品を市役所等で回収し、リユースフェア等で希望者に無料で譲渡し、リユースの促進を図っている。

【子供服・絵本】 平成24年6月から回収開始

*回収場所 市役所本庁など公共施設等 計11箇所

*ときわ公園内ときわ湖水ホール等で「子供服・絵本リユースフェア」を開催

		平成28年度 (13回開催)	平成29年度 (12回開催)	平成30年度 (9回開催)	令和元年度 (9回開催)	令和2年度 (8回開催)
回収実績	子供服	19,797枚 4,165kg	17,508枚 4,081kg	20,681枚 3,470kg	14,716枚 3,008kg	17,810枚 2,868kg
	絵本	3,566冊 877kg	2,361冊 717kg	3,091冊 779kg	1,939冊 565kg	2,750冊 881kg
譲渡実績	子供服	16,627枚	17,884枚	15,292枚	14,819枚	15,146枚
	絵本	2,649冊	2,729冊	2,186冊	2,550冊	2,356冊

【子育てグッズ】 平成26年9月から回収開始

平成28年4月からは学生服を、平成29年4月からは学用品を新たな品目として追加した。

*回収場所 市役所本庁など公共施設等 計12箇所

*ときわ公園内ときわ湖水ホール等で「子育てグッズリユース広場」を開催

*事前予約による学生服、学用品の随時譲渡を実施。

		平成28年度 (6回開催)	平成29年度 (6回開催)	平成30年度 (6回開催)	令和元年度 (6回開催)	令和2年度 (5回開催)
回収 実績	子育てグッズ	1,186個	965個	904個	677個	830個
	スポーツグッズ	676個	294個	341個	238個	262個
	学生服	374枚	381枚	510枚	464枚	487枚
	学用品	—	58個	132個	70個	163個
	回収重量(計)	1,997kg	1,432kg	2,032kg	1,846kg	1,942kg
譲渡 実績	子育てグッズ	976個	871個	791個	752個	616個
	スポーツグッズ	294個	374個	341個	286個	275個
	学生服	157枚	347枚	280枚	364枚	396枚
	学用品	—	31個	55個	39個	90個

<課題>

- ・譲渡希望者及び回収ボックス利用者の固定化が考えられる。

<今後の取組>

- ・新規利用者の開拓を目指し、本事業の更なる周知徹底を図る。

8. 段ボールコンポストの普及促進

燃やせるごみのうち特に水分量が多い生ごみについて、段ボールコンポストを使って良質な堆肥を作り、自然環境にやさしい循環システムの確立を図っている。

*販売箇所 ふれあいセンター(24か所)、宇部市環境衛生連合会、宇部市廃棄物対策課

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
一般向け講習会	22回	18回	12回	5回	5回
	490人	328人	219人	56人	74人
販売等個数	599個	495個	560個	230個	540個
環境学習	小学校11校	小学校11校	小学校8校	小学校6校	小学校8校
	保育園8園	保育園7園	保育園8園	保育園8園	保育園0園
各種イベントでの 展示説明会	11回	7回	5回	3回	1回

<課題>

- ・手間がかかるなどの要因で普及が進まない。

<今後の取組>

- ・新規事業における新たな利用者の開拓。

○宇部市段ボールコンポストによる地域循環活動助成金【新規】

ごみの減量化対策の一環として、段ボールコンポストを活用した一般家庭から発生する調理残さ及び食べ残し等の減量化及び再資源化の推進並びに地域活動の活性化を図る。

- ・段ボールコンポストの無償配布

段ボールコンポストにより生成される堆肥を地域活動に利用できる又は提供できるグループからの申請により、段ボールコンポストを無償配布（1団体につき上限20個）する。

- ・堆肥の地域活動（地域で管理している花壇等）への還元
- ・提供された堆肥を活用できる地域団体へ交付すること。

○実施時期 令和2年8月から

○配布数 224個（令和2年度販売数540個の内数）

9. 家庭系廃食油のリサイクル推進

家庭系廃食油について、スーパーの店頭やふれあいセンター等の回収によるリサイクルシステムを構築し、廃食油から精製されたバイオディーゼル燃料(BDF)をごみ収集車に使用した。

*回収場所 コープ宇部店、アルク（南浜店、恩田店、西岐波店、厚南店）、山口アポロ石油株式会社（宇部西営業所、八幡宮前営業所、ドリームライフアポロ）、川上・西宇部・船木ふれあいセンター 計11箇所

*BDF精製 ㈱アースクリエイティブ（宇部テクノパーク）

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
回収実績	9,695ℓ	10,798ℓ	11,510ℓ	13,417ℓ	14,894ℓ
(対前年比)	8%↑	11%↑	6%↑	16%↑	11%↑

<課題>

- ・回収量は年々増加しており、不適物の回収も特に認められていない。

<今後の取組>

- ・今後も引き続き廃食油のリサイクルに取り組んでいく。

10. 使用済小型家電リサイクル

家庭で不用になった小型家電を各ふれあいセンター等で回収し、入札により選定した認定事業者に引渡し、再資源化の促進を図った。

*回収場所 各ふれあいセンター、市役所本庁、リサイクルプラザ 計26箇所

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
回収実績	7,778 kg	12,034 kg	11,975 kg	6,496 kg	8,478 kg
(対前年比)	28%↑	55%↑	△1%	△46%	31%↑

<課題>

- ・不適物の混入が見られる。(電池等)

<今後の取組>


- ・回収ボックスに掲示物を貼付、事業について更なる周知を徹底することで、不適物の混入を防ぐ。

○宅配便を活用した小型家電リサイクルに関する連携協定を締結【新規】

小型家電の再資源化を推進するため、リネットジャパンリサイクル株式会社（小型家電リサイクル法認定事業者）と小型家電回収に関する協定を締結。従来の各ふれあいセンター等での回収に加え、令和3年2月から宅配便による便利な自宅回収を開始。


回収方法

宇部市 協定事業者



小型家電
大臣認定 第0024号

宅配便による 自宅回収




宅配便がご自宅まで回収!

年中無休、最短翌日回収!

パソコンが入ると **無料!**

▼お申し込みはインターネットから



違法回収業者は、
利用しないでください。

※無料の対象はパソコン本体を含む回収1回につき1箱の宅配便回収料金となります。


市の拠点回収

回収ボックスへの 持ち込み

設置場所

- ・各地区ふれあいセンター
- ・宇部市本庁舎ロビー
- ・宇部市リサイクルプラザ

※40cm×20cmの投入口に入る使用済小型家電に限ります。



▼詳しくは「市のホームページ内の検索窓から」

p. 6